

資 料	県内の交通事故情勢と今後の交通事故防止対策について	神奈川県警察
-----	---------------------------	--------

## 1 令和5年中の県内の交通事故発生状況

	発生件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
令和5年	21,870	115	25,644
令和4年	21,098	113	24,382
増減数	+772	+2	+1,262
増減率(%)	+3.7	+1.8	+5.2

## 2 小型モビリティの交通事故発生状況

### (1) 過去5年間の自転車交通事故発生状況

年別	元年中	2年中	3年中	4年中	5年中
発生件数	5,433	5,027	5,424	5,393	5,436
増減数	-642	-406	+397	-31	+43
構成率(%)	23.3	24.4	25.0	25.6	24.9
死者数	13	12	17	11	12
増減数	-6	-1	+5	-6	+1
構成率(%)	9.8	8.6	12.0	9.7	10.4
負傷者数	5,301	4,844	5,206	5,195	5,192
増減数	-615	-457	+362	-11	-3
構成率(%)	19.4	20.3	20.8	21.3	20.2

### (2) 令和5年中の電動モビリティ交通事故発生状況

- ア 道路交通法改正前（6月30日以前）の特例措置電動キックボード 3件
- イ 道路交通法改正後（7月1日以降）の特定小型原動機付自転車 0件

## 3 小型モビリティの交通事故防止対策

### (1) 令和5年中の交通事故防止対策

各種街頭活動を通じた悪質危険な交通違反の取締りのほか、自転車指導啓発地域重点地区・路線、二輪車指定路線を重点とした「自転車通行空間の整備」、「交通安全教育や広報啓発の推進」、「交通違反に対する指導取締りの強化」を3本柱として各種施策を推進した。

### (2) 新たな交通事故防止対策

県内の過去5年間の自転車乗用中の交通事故死者数は、成人が9割を占めており、この世代はいわば生産年齢と言われ対面の交通安全教育が難しい世代である。このため、県警察では、当該世代をターゲットとして、楽しく持続的に学習できるゲーミフィケーションを駆使した交通学習機能を搭載したアプリを開発中である。また、自転車運転者に対する交通反則通告制度の適用を控え、運転免許取得時講習のような学習の機会を本アプリにて公的機関が提供することで、交通ルールの普及徹底に関する課題解決に努める。

## 4 市町村へのお願い

アプリ公開時において、効果的なアプリの普及及びダウンロードの促進を図るため、市町村と協力し、市町村が配布する広報啓発物や情報発信用広報媒体、当該関連施設等において、広報周知活動を実施したい。